

平成30年 2 月 8 日

陳情第128号

デザインビルド方式による市民ホール整備計画を中止し見直すことを求める陳情書

デザインビルド方式による市民ホール整備計画を中止し見直すことを求める陳情書

【陳情趣旨】

市は、7年もかけ市と市民、専門家が協議し、全国に誇れる「芸術文化創造センター実施設計」を完成させましたが、不幸にして入札不調となりました。その主な要因は東日本大震災の復興事業や東京オリンピック招致に伴う建設工事等により建設資材・人件費等の建設費が1.7倍にも値上がったことにあります。建設費の高騰さえなければ、「実施設計」は55億円でもできたはずです。その後「市と市民との意見交換会」において、設計者から小ホール分割工事案が提案され、多くの市民も同意しましたが、なぜか市は「芸術文化創造センター実施設計」を破棄し、設計から施工までゼネコンにゆだねるデザインビルド方式に方向転換してしまいました。

私たちは、市民参加を促し、「芸術文化創造センター実施設計」を完成させた加藤市長の方針は今でも正しかったと考えています。しかし入札不調後180度方向転換し、市民を排除しデザインビルド方式に走ったことに、強い憤りを禁じえません。

昨年9月の公募型プロポーザル2次審査で、優先交渉権者に鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体が選ばれました。驚いたことに、設計担当の仙田満氏は元芸術文化創造センター整備推進委員会の委員長を務め、「実施設計」をとりまとめた責任者です。デザインビルド方式に方向転換することに強く反対したとも伺っています。その仙田氏がなぜ今回デザインビルドプロポーザルに応募してきたのか、大変理解に苦しむとともに、その提案には重大な問題が多々あります。私たちは、先日加藤市長と仙田氏に公開質問書を出し、疑問をただしているところです。とりわけ重大な問題点は以下の通りです。

- (一)「大・小ホールとも、ほとんどの観客は2階ホワイエからのアプローチとなり、高齢者に優しくないづくりだ」と私たちが指摘したところ、2次審査以後口頭でエスカレーターをつけると言い始めた。ところがエスカレーターをつけると観客が殺到するという新たな問題が起きる。1階にホワイエを設け、1階からのアプローチにすれば、エスカレーターをつける必要もなく、問題はなくなる。
- (二)大ホールで有料公演を行うとき、1階の無料域からの入り口の後ろ(アート回廊、小ホール、東出入口等)は全てバック動線となり、関係者以外の立ち入りは制限され、市民が平土間での使用が出来なくなる。その場合小ホールの平土間はリハーサル等の利用に限定される。また小ホールを平土間で利用する時、市民用のトイレは全くない。市民利用のための創造支援系機能(小ホール、スタジオ等)が施設の奥に押し込められ、市民の活動による賑わいを発信できないづくりになっている。
- (三)大ホールの楽屋入口と来館者の入口が分けられていないため、有名な演者(歌手、俳優、芸能人等)を呼ぶとき、セキュリティなどに支障をきたす。
- (四)大ホールのバルコニー席や主階席の左右の壁際の席において、最悪舞台の25%、そして舞台の奥の Horizont 幕に写される背景が半分見えなくなる席がある。芸術文化創造センター 実施設計では、どの席からも舞台が見え、Horizont 幕の映像もおおむね見えるのに比べ劣悪であり、改善が必要である。
- (五)パース(完成予想図)には表現されていないが、お城側の大屋根の上部に大穴が開き、屋外機が露出すると想定される(公開質問書に詳述)。その場合歴史的景観が著しく損なわれる。
- (六)デッキテラスはホールの建物の一部でありながら60億円の枠外とし、外構費を充てるとのこと。本来外構費とは門や塀、歩道、駐車場、植栽などをさし、建物は含まないはずである。60億円を超えたらみな外構費扱いなのかと疑念を抱かざるを得ない。

(七) ホール建設予定地は重塩害地域(海岸から500m以内)であり、特に塩害対策など維持修繕に気を配る必要がある。屋根材がガルバリウム鋼板だと葺き替えが避けられず、トータルコストが高くなる。

(八) 要求水準書の総則において、市と共同企業体が合意すれば要求水準を変えられることになっており、議会や市民に知らされないで設計・性能・品質等が次々変更されていく恐れがある。完成するまでどのようなものが出来るのかわからない現在のデザインビルド方式は、根本的に問題がある。

以上のことから、私たちは市議会に以下の陳情をいたします。

【陳情項目】

優先交渉権者の提案は、市と話し合い改善を図るにはあまりにも重大な問題が多く、抜本的に見直す以外解決の方法はありません。そこで市議会に対し、市に今進めているデザインビルド方式による市民ホール整備計画を中止し見直すよう提言することを求めます。

平成30年2月8日

小田原市議会議長

加藤 仁司 様

提出者

小田原市飯田岡195

芸術文化創造センターを考える会

代表 大須真治 ㊞